

思会あ感。れ働のき
と出がくすくて分
なのいしまて出
たん思寂いえにと入
っきのして教会っ
かくどこしに社や部
よたほす謝寧り後Ⅲ」
て、いと感丁か年校
きとなうくにぎ定高
でるが思ご僕遠、谷
がみりとすいらり桃
とてきるになかわた
こっどな生ら校終っ
ぶ返なく先か学もだ
学り出なのわ間て標
で振いが校りい育目
校今思々学ま長子、
高「、日」「あ」「
谷。達の。」が。し
桃す友こす語たそを
はま、ま本し、間と
今いいりじ日まき時

生徒に
て生寧
し、「丁
心に、
安もえ、
でと考
全とを
安る」
が守か
り見の
とくな
ひか切
人温大
一うが
徒よ何
生る、
、れ今
は送、
員をに
職活め
教生た
校の支

っ紹
たつ
当一
にを
る詩
始め
を始
生活
校お
高つ
、み
に、
さん
さ相
な
みの
で人
こ詩
て、
介

よ
せん
せよ
ま
い
ま
か
も
て
か
ま
い
ま
せ
ん
よ
よ
す
で
と
こ
を
歩
く
こ
な
前
を
す
の
つ
も
道
で
ら
せ
で
の
い
く
い
つ
分
の
い
い
たい
自

かたしてりのうがうて。
今し校しあ分そなよけす。
。意登には自。つの付
た決日切要といと徒にし
しと毎大必りさへ生身支
ま」とをぐかだ来たを支
しうり業急つく将え力杯
学こか授、してり迎る一
入行っばに、っなをけ精
ににしれうて送と式いを
校校はすよいを力業てん
高高校の向活の卒出さ
谷。「ま登詩を生ん週に皆
桃す、の前のさ先会は
日でししどもでな、社員
今生にそほで校みてて職
は校切。先つ高、しっ教
ん高大きい。い谷がそ張。
さ谷をさい。桃と。をい
な桃ちださんだこす胸さ
みは持くだせんるま、だ
ら気てくま選すりにく

皆様、思いに生徒とご一緒になくと、
皆ます。い点生いた者、中遠慮様ので、
のいたトリせ護真います。遠慮様ので、
家族ご一つが保がいます。遠慮様ので、
家ごあタヒけが保がいます。遠慮様ので、
ごうが一人つ学校生えたら、職員います
やと配の一人に学「生えたら、職員います
保護で心活は身し、「生えたら、職員います
者おや校職員を携し、「生えたら、職員います
、に労高教くためと連携あり本校の教職
が誠苦はちいたりといきが。本校の教職
したはごちたてのりなど。本校の教職
ま日本な私いそっかてなさい。本校の教職
り、ろ生徒。抜いそっかてなさい。本校の教職
な、い、ま生す。抜いそっかてなさい。本校の教職
に、今、い、ま生す。抜いそっかてなさい。本校の教職
最後まで、今、い、ま生す。抜いそっかてなさい。本校の教職
改めます。今、い、ま生す。抜いそっかてなさい。本校の教職
今立っ社会ての係か。これに、生、お願

新入生のみなさん、新しい生活のスタートです。
皆さんが充実した学校生活を送ってくださることを
祈念し、私からの式辞とします。

令和元年十月一日

大阪府立桃谷高等学校
定時制の課程 多部制単位制Ⅲ部
准校長 稲垣 靖